

削 装

| 原 料 受領月日 | 原 料 | | 製 品 引渡月日 |
|-------------|-----|---------------------|-------------|
| | 品目 | 数量 | |
| 9月15日 | 荒亀節 | 45 <small>㍗</small> | 10月2日 |

徹付(一番)

| 原 料 受領月日 | 原 料 | | 製 品 引渡月日 |
|-------------|-----|---------------------|-------------|
| | 品目 | 数量 | |
| 9月25日 | 裸亀節 | 12 <small>㍗</small> | 10月9日 |
| 29 | 〃 | 80 <small>㍗</small> | 13 |
| 10. 1 | 〃 | 110 | 15 |
| 計 | | 310 | |

委託加工手数料

| | |
|-------|----------|
| 荒 亀 節 | 54,340円 |
| 荒 本 節 | 44,940円 |
| 削 装 | 2,925円 |
| か び 付 | 3,100円 |
| 計 | 105,305円 |

効 果

受託製品は東京市場に出荷の結果先進地製品に劣らず上位の入札値となり他工場の製品の品質向上への刺戟となった。

(4) 水産加工指導

1. うに加工指導

| 期 日 | 地 区 | 受 講 者 |
|-------|--------|-----------|
| 7月17日 | 笠利村屋仁 | 43名 |
| 7月18日 | 〃 佐仁 | 25名 |
| 8月14日 | 大和村志戸勘 | 10名(内女6) |
| 8月15日 | 〃 大金久 | 20名(内女15) |

指 導 事 項

殻割 生殖巣摘出 洗滌 水切 塩漬までの実地指導を行った。

2. からすみ加工指導

期 日 12月9日～12月11日

場 所 宇検村湯湾

受 講 者 5 名

指導事項 塩漬貯蔵中の原料塩卵30腹分を利用して塩抜整形乾燥につ

いて実地指導を行ったなお仕上げについて乾了后更に指導した)

3. 岩のり加工指導

| 期 日 | 地 区 | 受 講 者 |
|--------------------|---------|--------|
| 32年2月15日 ~2月16日 | 東天城村 金見 | 60名(女) |
| 2月17日 ~2月18日 | " 花徳 | 23名 |

指 導 事 項

1. 原料の摘採
 2. 洗 滌
 3. 切 截
 4. 抄 製
 5. 乾燥について
- 実地指導を行った。

(註) 岩のりは葉体が硬質のため乾燥後亀裂を生じ製品としては不良となつた。
従つて、岩のりと、ひとえぐさを半々に混入して抄製することを奨めた。

まべ Pteria penguin (Roding)

増 殖 に 関 す る 基 礎 的 研 究 [I]

— 人工受精と発生について —

新村 廉・豊田正雄

一、緒 言

大島海峽(通称 瀬戸内水道)は古くから、まべの産地として知られていたが、旧要塞地帯であつたため殆ど利用されていなかった。戦後真珠の需要増加と共に、特に大型真珠への嗜好が増えまべによる大型真珠養殖が企業化された。

昭和26年、当時琉球政府の力添えにより本土養殖業者と地元民の共同出資により二会社が設立され操業したのであるが、年と共に母貝採集量は漸減してきた。因に昭和27年4月~12月におけるS社の母貝採集量は3931個であつたが、昭和30年4月~12月においてA社では僅か 150個前後しか採捕していない。しかしてS社は既に昭和28年頃から操業停止の状態となり現在A社のみとなつている。

かくして地元業者の切なる要望に応え、奄美大島復興事業費を得て まべ母貝の増殖をなさんと基礎的研究をすることになつた。

本年度は主として まべの産卵時期の把握と人工受精による発生の研究及び飼育試験を実施した。

なお本研究を実施するに当つて絶大なる御指導を賜つた、鹿児島大学水産学部和田助教授に対し深甚なる謝意を表すると共に、種々御協力をいただいた奄美真珠海綿養殖株式会社 光塚 喜市氏外職員一同に厚く御礼を申し述べます。